

等もあるので、危険性の低いものも、可能な限りアスベストの使用状況の把握に努めていきたい。その結果を広報10月号で特集を組んで町民に周知をはかる。

問 夏休みラジオ体操を
防災無線で

答 放送は困難

問 ラジオ体操の放送を聞き、子どもが一人で起きるといふ自立心を養い、また地域の皆さんと一緒に体操をす

夏休みは防災無線で、全町民がラジオ体操をすべきと思う。

答 (山口町長)

地域の中で子どもを育てる環境を作るのはとても大事なことであるが、防災行政無線で一斉にラジオ体操を流すことは、乳幼児や

答 (山田教育長)
子どもたちが地域社会で成長するためには、非常に良い機会になると賛同し、教育委員会として奨励している。結果として124の集落で実施された。様々な問題点も指摘されたが、来年度に向け色々また啓発をしていく。



西尾寿博議員

問 農業問題は

答 農業振興策を検討

問 本町の農業生産額は、畜産から園芸とパランスもよく、鳥取県で2番目の93億円となっている。

- (1) 本町農業の評価は。
- (2) 農業継続発展の方法は。
- (3) JA鳥取西部との連携・協力など具体策は。

(4) かんがい用水を有効利用した農業施策は。

- (5) 観光・漁業等にも宝の山がたくさんある道の駅や物産を売る施策はどうか。
- (6) 高規格道路(9号バイパス)の内容は。

答 (山口町長)

(1) 畜産が44億円、米が15億円、野菜12億円、き花・果実で13億円など農業振興施策が活きている。

(2) 担い手の育成や確保、集落営農の取り組み、直接支払い制度の活用、新水利システムを活用した農地等の適切な保



旧中山町は西日本一のブロッコリー産地

全管理・付加価値を高めるブランド化、地産地消の推進・観光との連携など、大山の恵みを活かしていく。

また、「新町まちづくりプラン」

の具体化を図っていく。各種協議会への参画など。

(3) 水田営農推進協議会の運営、梨再生促進事業の取り組みや、野菜より、18基の共同給水では価格の安定化対策、

給水栓が設置されている。かん水効果をPRしつつ農業振興策を検討していく。

(5) 道の駅の必要性を理解し、みくりや市、弥生の風、仁王堂での朝市等の拠点として、大山振興室の中で見出し

ていく。

(6) 19年10月に開催される全国和牛共進会に合わせて開通の見込みだが、パーキングやサービスエリアの計画はない。